

令和6年度 射水市男女共同参画審議会	
日 時	令和7年3月25日(火) 午前10時から午前11時15分まで
場 所	射水市役所 301会議室
出席者	委員：小島委員、辻井委員【会長】、堀委員、松浦委員、松尾委員、向田委員、山崎(京)委員【副会長】、山崎(良)委員、米田委員(50音順) 事務局：市民生活部長、市民生活部次長、市民活躍・文化課長、市民活躍・文化課長、市民活躍推進係長、同係主事
欠席者	浅村委員、櫻田委員、田中委員、山本委員、吉河委員(50音順)
会議形態	公開
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 議事 (1) 令和5年度男女共同参画の推進に関する年次報告について (2) 令和6年度事業について 4 その他 5 閉会
内 容	(1) 令和5年度男女共同参画の推進に関する年次報告について <u>主な質疑・意見</u> 委員：女性防災士の数を増やす取組に加えて、防災士や避難所開設等に携わる方のアンコンシャス・バイアスの解消や多様性の尊重について共通理解を深める取組が重要である。 市：防災分野における男女共同参画については、担当課である防災・資産管理課と連携しながら、実効性の高いものを検討していく。 委員：アンコンシャス・バイアスを意識した避難所開設は、子どもや高齢者、障がい者や外国にルーツを持つ方などにとって、よい環境につながる。 委員：「育児休業の取得率」について、射水市役所内に置ける数値のみの記載のため、高いものか低いものかわからないので、一般企業との比較を掲載してはどうかか。 市：市の企業状況調査における育児休業取得率について、男性は49.1%、女性は99.9%である。資料への掲載については検討する。 委員：昨年からの女性支援新法が施行されており、女性活躍といった活躍にのみ焦点をあてる事業だけでなく、DV相談や人権に配慮することも今後は必要になると思う。 委員：乳幼児から小学生・中学生まで、また大人や高齢者など広い年齢層を対象とした施策が展開されており、今後も継続して実施することが重要だ。しかしながら、高校生や大学生の年齢層が対象から抜けているように思う。ポスターによる事業周知など市内高等教育機関との連携を強化してはどうか。 市：指摘のとおり、市内高等教育期間との連携は実績が少ないので、関係課と相談しながら事業展開を検討する。

(2) 令和6年度事業について
主な質疑・意見

委員：女性活躍推進学び塾の参加者数、年齢層を教えてください。

市：親子での参加もあり、10代から70代の方が参加した。

委員：キャリアアップ応援補助金について、個人事業主が対象外となっているのはなぜか。

市：この補助金は、出産や育児、介護等により離職をした女性の再就職を目的としているため、個人事業主は対象外としている。